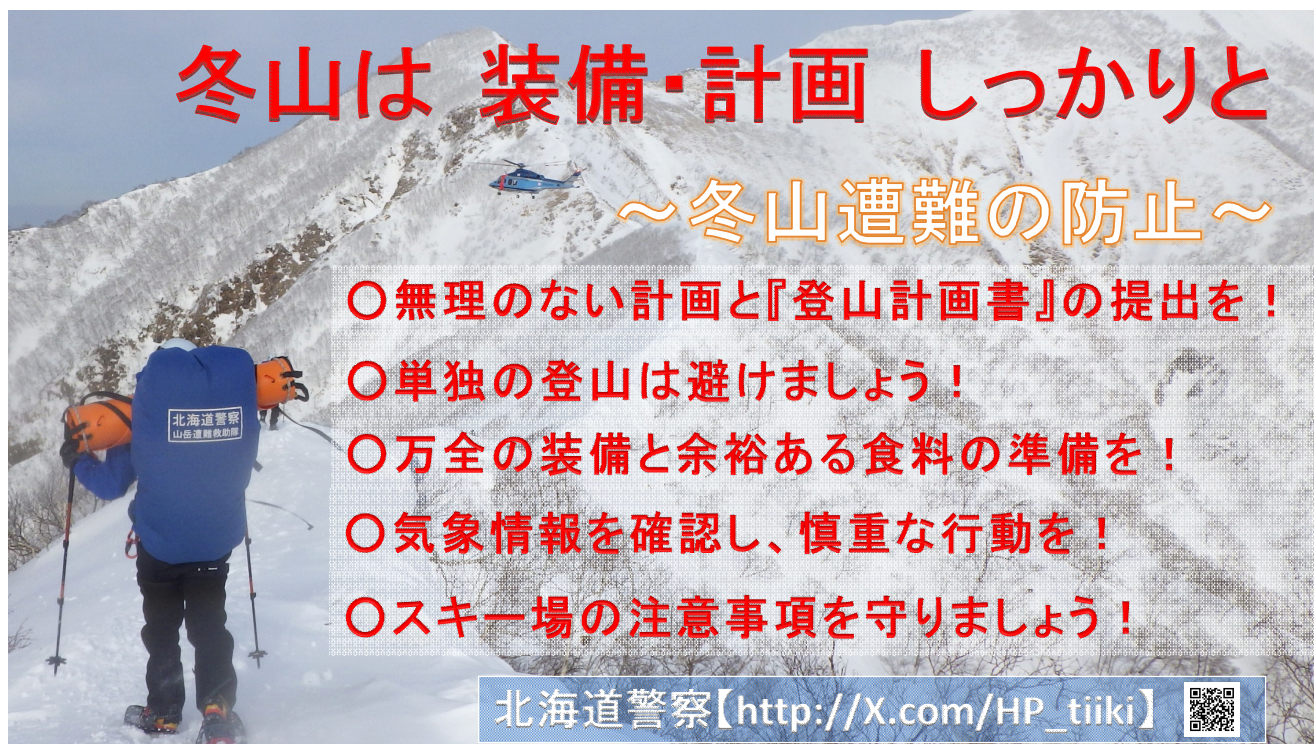




5 冬山遭難の防止

冬山は 装備・計画 しっかりと

- 無理のない計画を立て登山計画書を提出しましょう。
登山技術、体力、経験に応じた山を選ぶなど無理のない計画を立て、登山計画書を作成して、家族や職場等に渡すほか、最寄りの警察署又は交番・駐在所に提出しましょう。
- 単独での登山は避けましょう。
単独での登山を避け、経験豊富なリーダー等と一緒に登山しましょう。
- 万全の装備と余裕ある食料等を準備しましょう。
登山時の装備不備や食料不足が最悪の事態を招くおそれがあります。
急激な天候の変化にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備えて食料や燃料等を準備しましょう。
- 携帯電話を持ちましょう。
万一の遭難に備え、携帯電話を必ず持ちましょう。
- 気象情報の確認をしましょう。
入山前には必ず天気予報を確認し、天候の悪化が予想される場合には登山を中止しましょう。
また、途中で天候が悪化した場合は、すぐに引き返すなど安全な登山に努めましょう。
- 慎重な行動を心掛けましょう。
冬山では地形や積雪量、気象の変化等を総合的に判断して行動しましょう。
また、雪庇の踏み抜きや雪崩の危険性が高い場所等は回避するなど、慎重に行動しましょう。
- スキー場の標識や注意事項を守りましょう。
スキー場コース外の滑走は、雪崩の発生や立木への衝突などの危険があるので、スキー場の注意事項をきちんと守りましょう。

令和7年11月

北海道警察北見方面本部